

新丸山ダム 工事だより 6月期 ダム本体・ダム周辺

発注者



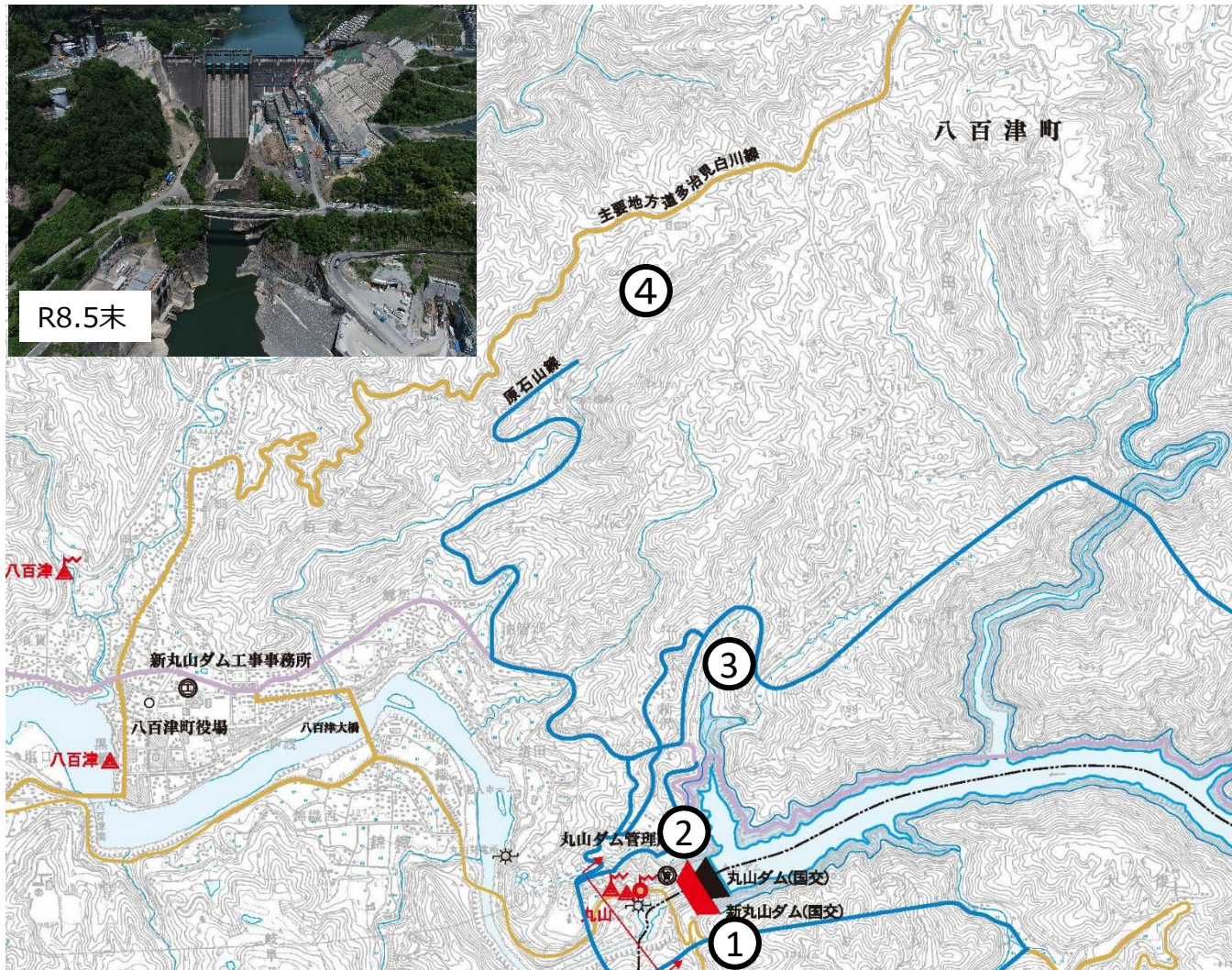
国土交通省中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所
TEL 0574-43-2780(代)



ホームページ



新丸山ダムのキャラクター



R8.5末

令和6年度 新丸山ダム本体建設第2期工事

令和7年度 新丸山ダム常用洪水吐放流設備工事

②ダム本体右岸

・ダム本体に用いるコンクリートを製造しています(右写真上の赤破線の建物)
・ダム基礎部の硬い岩盤を出すため発破等を併用しながら掘削し、法面の保護工を行っています(右写真下の赤破線の箇所)



R4.11末時点



R8.5末時点

③骨材製造設備

・ダムのコンクリートに用いる石や砂(骨材)を製造しています



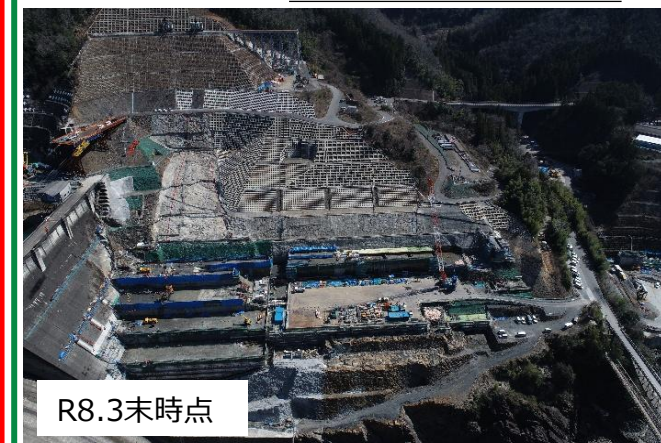
R4.11末時点



R8.5末時点

①ダム本体左岸

・ダム本体のコンクリートを構築しています
・ゲート設備の設置に使用するタワークレーンをR8.4月に設置しました(右写真の赤破線の箇所)
・ゲート設備の設置を開始します



R8.3末時点



R8.5末時点

④原石山

・R8.3末時点と比べて約8m下の標高でダムのコンクリートに用いる石や砂(骨材)となる原石を採取しています(右写真の赤破線の箇所)



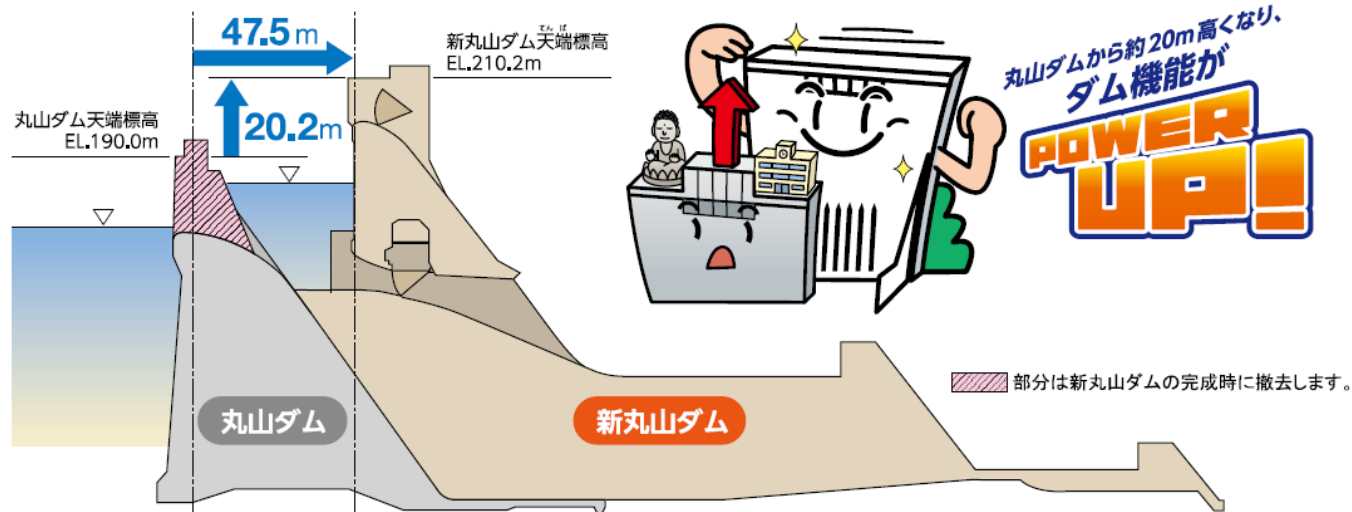
R8.3末時点



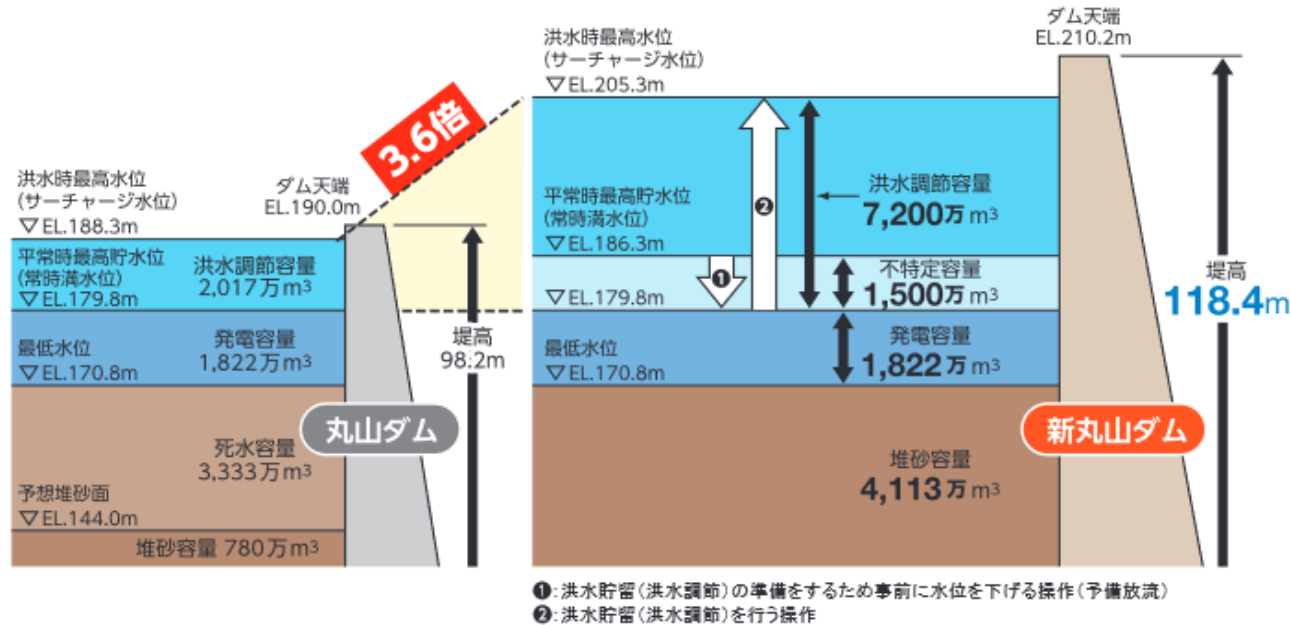
R8.5末時点

新丸山ダム建設事業 事業概要

新丸山ダム建設事業は、木曾川の河口から約90kmに位置する丸山ダムを20.2m嵩上げして機能アップを図るダム再生事業です。丸山ダムの下流側47.5mの位置に、新丸山ダムが丸山ダムに一部重なる形で嵩上げを行います。新丸山ダムの堤体が完成した段階で、ダムからの放流をスムーズに流すために丸山ダムの上部を一部撤去します。



洪水時に新丸山ダムは、丸山ダムと比べて3.6倍の水を貯めることができます。7,200万^m3の洪水調節容量のうち1,500万^m3は、渇水時の河川環境の保全や用水の安定化等のために設けた不特定容量を予備放流により、洪水調節容量として有効活用します。



通行規制情報

令和6年度 新丸山ダム本体建設第2期工事

新丸山ダム建設工事に関する工事車両通行や資機材等の運搬作業に伴い、当面の間通行規制を行います。

- ・規制区間: 下図の黄線範囲、青線(破線)範囲
- ・規制内容: 以下の図のとおり

